

藤枝市文学館第43回企画展

作家医師をとりまく世界

（藤枝静男「いっか家団だん樂らん」から50年）



平成28年 **5月14日** 土 ~ **7月10日** 日

藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014

静岡県藤枝市若王子500番地（蓮華寺池公園内）

[TEL] 054-645-1100 [FAX] 054-644-8514

[Eメール] muse@city.fujieda.shizuoka.jp

[休館日] 月曜日（祝日は開館、翌日休館） [開館時間] 午前9時～午後5時

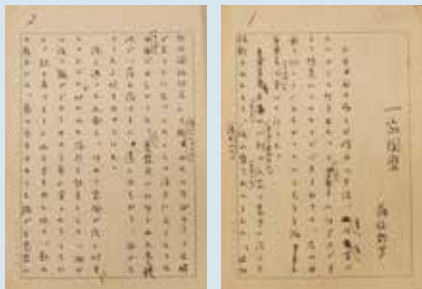
[入館料] 大人（一般）200円、（団体20名以上）160円

中学生以下及び障害者手帳等をご提示の方及び介助者は無料

藤枝市郷土博物館・文学館 

孤高の作家医師として知られる藤枝静男は、特異な世界を構築した私小説を多数発表しました。主人公が現実を冷静かつ客観的に見つめる作品がある一方で、現実では起こりえないような作品も生み出しています。本名・勝見次郎として生きた様々な体験が、作家・藤枝静男というフィルターを通して作品として出力され、それらは今なお読者に強烈な印象を与えています。

本展では、代表作のひとつである「一家団欒」が発表されてから今年で50年を迎えることを記念し、藤枝静男の作品世界に強く影響を与えた家族や文学者、医学、またそれらを素材とした作品を紹介し、ゆかりの資料をご覧ください。ことにより、藤枝静男の創り出した作品風景とその背景をお楽しみいただければ幸いです。



「一家団欒」原稿（浜松文芸館所蔵）

藤枝静男（1908-1993）

本名は勝見次郎。藤枝町市部（現在の藤枝市本町）に勝見薬局の次男として生まれ、小学校を卒業するまで藤枝で過ごした。旧制第八高等学校（現・名古屋大学）時代に志賀直哉に出会い終生師弟関係を続けた。その後千葉医科大学（現・千葉大学）を卒業し眼科医となったが、無類の文学好きで、1947年、雑誌『近代文学』に処女作「路」を発表。やがて確固たる新しい私小説世界を構築し注目され、野間文芸賞など数々の文学賞を受賞した。

藤枝市文学館第43回企画展

作家医師をとりまく世界

「一家団欒」から50年



勝見薬局薬品缶・注射器



千葉医科大学学士試験合格証（昭和11年）



家族写真（撮影年不詳）
左から勝見次郎（藤枝静男）、弟、父、兄、妹、姉、母



志賀直哉邸にて（昭和32年）
左から藤井孝作、志賀直哉、島村利正、藤枝静男

【企画展関連イベント】

講演会「一家団欒」「彼の故郷」と私

- とき 7月9日（土）午後2時～3時半
- ところ 文学館・講座学習室
- 対象 高校生～一般
- 定員 50名（申込順）
- 申込 TEL・FAX・E-MAILで郷土博物館・文学館へ
※5月14日（土）受付開始
- 聴講料 200円（入館料として）



講師／徳島高義さん

講演社『群像』編集部にて藤枝静男、小川国夫、三島由紀夫、大江健三郎など多くの作家を担当。のちに『群像』編集長、文芸局長、常務取締役などを歴任。著書に『ささやかな証言-忘れえぬ作家たち』。

ワークショップ

内容 陶器の成形、色絵付
（作品のお渡しは後日になります）

陶芸にチャレンジ！あなただけの〇〇をつくろう！

- とき 6月11日（土）、6月25日（土）午前10時～正午（2回シリーズ）
- ところ 郷土博物館・講座視聴覚室
- 対象 小学生～一般（小学生は保護者同伴）
- 定員 20名（申込順）
- 申込 TEL・FAX・E-MAILで郷土博物館・文学館へ
※5月14日（土）受付開始
- 体験料 2,000円（材料費含む）
- 持ち物 雑巾、汚れてもよい服装



講師／前田直紀さん

藤枝市在住。大阪産業大学デザイン学科卒。サラリーマン生活を経て全国窯場を廻る。京都宇治、信楽で修行。国内外で個展を多数開催。藤枝市陶芸センター館長。

藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500番地（蓮華寺池公園内）

[TEL] 054-645-1100 [FAX] 054-644-8514
[Eメール] muse@city.fujieda.shizuoka.jp

[休館日] 月曜日（祝日は開館、翌日休館） [開館時間] 午前9時～午後5時
[入館料] 大人（一般）200円、（団体20名以上）160円
中学生以下及び障害者手帳等をご提示の方及び介助者は無料